



2025年12月25日

株式会社みずほ銀行

芙蓉総合リース株式会社との 「Mizuho削減貢献量インパクトファイナンス」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、芙蓉総合リース株式会社（代表取締役社長：織田 寛明、以下「芙蓉総合リース」）との間で、「Mizuho削減貢献量インパクトファイナンス」（※1、以下「本商品」）に関する融資契約を締結しました。

〈みずほ〉は、お客さまとの積極的な対話（エンゲージメント）を通じて課題やニーズを深く理解し、お客さまのSDGs・ESGへの取り組みやイノベーションをサポートするため、多様なソリューションの提供に積極的に取り組んでいます。

本商品は、みずほリサーチ＆テクノロジーズ株式会社（取締役社長：吉原 昌利）が持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）発行のガイダンスやGXリーグの機会開示に関する基本指針等を参考に独自に開発した評価手法を用いて、みずほ銀行が企業の削減貢献に関する開示や取り組みを評価した上で、融資を行う商品です。

なお、評価手法を含む本商品のフレームワークについては、株式会社日本格付研究所（JCR）から環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に適合する旨の意見書を取得しています（※2）。

〈みずほ〉は、芙蓉総合リースが中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において社会課題の解決と経済価値の同時実現による持続的成長を目指し、重点的に取り組む非財務課題について定量目標を定め、財務（企業価値）・非財務（社会価値）両面の実現を等しく追求している中で、CO₂削減貢献量に係る目標を策定していること、削減貢献量に関する開示状況、2030年にカーボンニュートラルの達成を目指していることなど、評価モデルに使用している指標において高い水準で満たしていることを評価しています。

〈みずほ〉は、本商品の提供を通じ、継続的なエンゲージメントを行うことで、国内企業における削減貢献の取り組みの普及・促進に貢献し、お客さまとともにインパクトと収益の創出の好循環を実現することで、社会・環境課題の解決と企業価値の向上の実現を目指します。

＜案件の概要＞

融 資 先：芙蓉総合リース

貸 付 人：みずほ銀行

契 約 締 結 日：2025年12月25日

実 行 日：2025年12月25日

※1：Mizuho削減貢献量インパクトファイナンス

2025年10月31日付ニュースリリース「Mizuho 削減貢献量インパクトファイナンス」の取り扱い開始について

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20251031_2release_jp.pdf

※2：株式会社日本格付研究所のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上